

うちの近所 コレイチ

わが町 自慢紹介 133

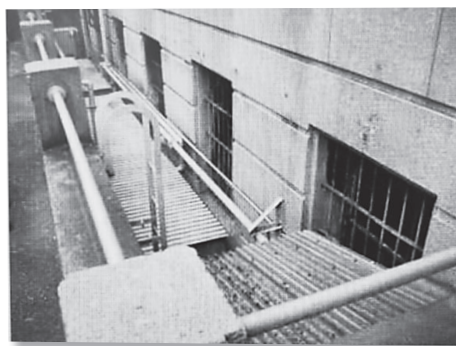
戦後・被爆80年

府庁地下の
特高取調室
大阪市
中央区

国家総動員体制で戦争へ
思想を統制した「特高」

府庁本館の地下に 特高警察取調室や牢屋が

戦前、日本政府はナチスのような
一国一党体制を敷くため、政党や労働組合を解体して大政翼賛会として、国家総動員体制で日米開戦に突入しました。反天皇制や戦争反対の運動を取り締まり、国民の思想を統制する狙いから、1924（大正13）年に大阪府庁内に特別高等警察（特高）が設置されました。



「戦争に反対する人たち」「外国人というだけでスパイかも」と、取り調べた特高。府庁内地下室の窓に鉄格子がはまっているのが特高の取調室（現在、鉄格子は撤去されています）

特高は1945年10月にGHQの命令で廃止されましたが、府庁本館地下に特高取調室や牢屋が当時の状態でしばらく残っていました。

終戦直後に新憲法のもと 労働組合が結成される

戦後、占領下の日本で労働運動が急速に高まり、各自治体でも「生活擁護」「職場の民主化」を正面にかけ、2・1ゼネストを構えレッド・パージに抵抗し、たたかいました。戦後の混乱期に幾多の困難を乗り越え、「地方公務員法」の制定で、新たな労使関係を築きました。1946年4月に大阪府職労が、同年5月に衛都連が結成され、府内の自治体で労働組合が誕生しました。当時の府職労青年部は、府庁舎正面玄関の最上部にはめ込まれた「菊の紋章」（天皇家の紋）を「新憲法の主権在民の理念にそぐわない」と抗議し、「府当局の手で外された」と伝えられています。

秋の臨時国会において、戦争準備へ国民の目・耳・口をふさぐ悪法「スパイ防止法」制定の動きには、断固反対します。

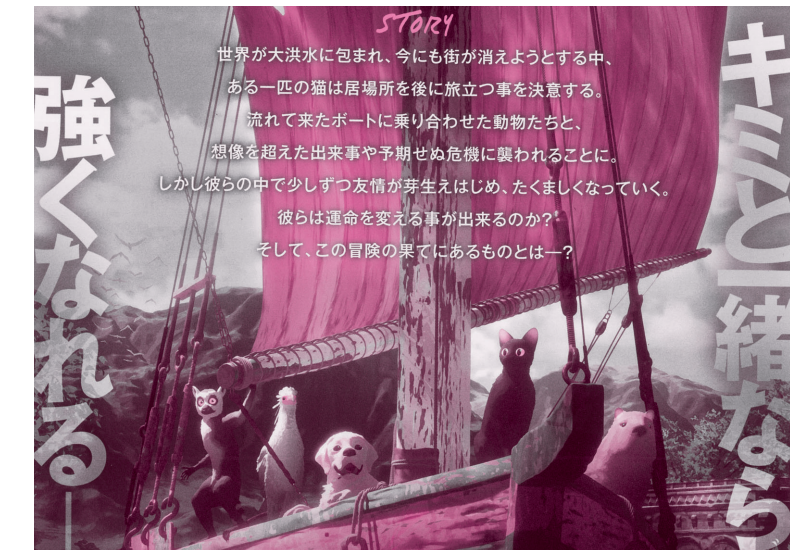
いりどりのメニューがい

世界が大洪水に包まれる中
一匹の猫は旅立つ決意をする

「FLOW」

登場するのは動物のみで、セリフが一言もないアニメーション映画。主人公は一匹の猫。森の中、犬の群れに追いかけられた猫は、住処らしい廃家に逃げ帰ってきます。家の周りにはたくさん猫の彫像が置かれ、かつて人間がいた形跡がうかがえます。その直後、大洪水が襲い、たちまち何もかも水の底に沈んでしまいました。

猫は巨大な像の上に避難しますが、そこにも水が迫り、流れてきた帆船に乗り込みます。その船には先客のカピバラがおり、続いてキツネザル、犬、大きな鳥も船に乗り込んできました。何事にも我関せずのカピバラ、光る物に異常なほどの執着を示すサル、いずれも個性的です。はじめはお互いを疎ましく思いつつありますが、次から次と襲ってくる



あなたがどれほど遅く進んでも
止まらないかぎり問題ありません
孔子
（中国春秋時代の思想家）
（儒教の創始者）

採用されてから6か月。試用期間が終わり、気持ちを新たにしておられるでしょうか。それとも「ごんははずではなかった」「先輩たちのようにはできない」と落ち込んでおられるでしょうか。焦ることはありません。蓄積されていく知識と経験は、あなたを裏切ることはありません。早い遅いはあるかもしれませんが、「人の役に立ちたい」という初心を忘れず、努力することが大切です。あきらめず、ゆっくりでも一步一步確実に進めば、遠くまで到達することが可能です。

今月の
記念日

10月4日
イワシの日

大阪府多獲性魚有効利用検討会（現・大阪おさかな健康食品協議会）が提唱し、「い(1)わ(0)し(4)」の語呂あわせにより、安くておいしいイワシの有効性を広くPRするため、いわし食用化協会（現・いわし普及会）が1985年10月4日に制定しました。近年、地球温暖化や海洋汚染や乱獲などの要因で、海の生態系が大きな変化に直面しています。日本近海でも漁獲量が激減し、食卓に並ぶ魚の未来が危ぶまれています。平安時代に世界最古の長編小説「源氏物語」を書いた紫式部は、大のイワシ好きだったという逸話があります。